



2005

議会だより

No. 62

題字は大神中3年 おお かわ とも よ 大川智代 さんです

平成 17 年 11 月 15 日 (年 4 回 発行)

発行：大分県日出町議会

電話 73 - 3135



心をひとつに 日出中ソーラン! (日出中体育祭)

目次

- 出張所の事務機能見直し.....2
- 常任委員会.....4
- 特別常任委員会.....5
- 一般質問.....6
- 先進地に学ぶ.....11
- 町民の声.....12

再生紙を使用しています。

機能見直し



協働社会に向けて（川崎郵便局）

提出議案

「日出町の特定の事務を郵便局において取り扱わせることに関する協議について」

提案理由

「行財政改革を進める中で、出張所の取り扱いは大きな課題でありました。昨年11月に行財政改革推進本部を設置し、その中で出張所のあり方について様々な角度から検討してまいりました。その結果、出張所の事務機能の廃止と施設の有効利用という方向性を得ましたので、代替措置として地域の方々への行政サービスをできるだけ低下させず、効率的に提供するための方策として、戸籍の取り扱いなどの事務を地域の郵便局へお願いするために提案するものであります。」

各出張所での公的証明書などの発行事務を廃止し、事務の一部を郵便局で取り扱う。そして届出・申請などは役場庁舎で、納税などは役場本庁・町内金融機関で行うための議案に集中して議論が行われました。

各出張所事務を見直し、地域づくりの拠点として有効活用
総務委員会全会一致
本会議 賛成15 反対5で可決

出張所の事務

議案への質問

佐藤 済江 議員

本議案が提出されるまでの経緯とこれにかかる経費、また個人情報保護のセキュリティについてはどう考えていますか。

佐藤 隆信 議員

郵便局との委託事務は1年契約の更新としていますが、民営化で局が無くなったり、更新できないときはどうするのですか。また職員が公務員ではなくりますが、守秘義務はどう考えていますか。

熊谷 健作 議員

総選挙のさ中、郵便局の行方も、職員の身分もわからないこの時期に、あえてこの議案を提出したのはどうしてですか。また豊岡の郵便局は駐車するのにも危ない場所ですが、駐車場を含めた整備などを考えているのですか。

町長

答

回

本庁事務と出張所事務を明確にし、また基本的には予算の執行が現状8000万円を超える人件費の費用対効果を考えたときの最終的な結論ということがあります。維持費を含むと約1億円の経費で運営している出張所を、廃止ではなく、行政の効率化を進めるという観点から地域づくりのために有効に使うということです。構想としては職員を全部非常勤化して、地域づくりの活性化、地域をお世話できる複数の方々の方々の配置を考えています。1500万円ほどあれば8人の非常勤職員が配置できます。

廃止になる出張所事務は、本庁で行わなければなりません。代替措置として郵便局を利用していただくということになります。郵便局の対応は本人確認と書類の受理、交付だけで、事務処理はネットワークで本庁で行います。また郵便局においても個人情報セキュリティ管理規定を定めていますので、守秘義務は守られると考えています。今回の衆議院選挙のなかで郵政民営化が議論されていますが、郵便局の実情からすると急速な変化はないと思いますし、公社法では職員は公務員に準ずる措置が取られています。

現在事務の集中化、また相当遠距離まで広域合併している中、日出町全体ではそう遠い距離にはないわけであり、そういう意味からすると車に乗れる方はぜひ本庁舎にお願いをしていきたい、そうではない方には郵便局でお願いをするということであり、反対します。

反対します

佐藤 隆信 議員

出張所の廃止は、今後出張所の建物をもどのように住民が利用できるのか、非常勤職員は何をするのか、郵便局が民営化され廃止になったらどうするのかなど具体化されていません。議会、職員はもちろん、住民にも納得いくように提案をし、それが本当に納得できる状況なら廃止に反対はしませんが、余りにも性急過ぎます。サービスを切り捨てる以上、住民への説明と納得が必要であり、今回の提案はその点ができていない。よって反対します。

荒金 啓治 議員

今議案は事実上の出張所廃止と受け止めています。行財政改革に対しては一定の評価はできると思っていますが、何でもいというわけにはいかないとはいいます。時期尚早であり、住民にも説明不足で納得が得られないと考え、反対します。

常任委員会

総務

行政のスリム化

- 一般会計補正予算は衆議院議員選挙にかかわるもので可決。
- 職員の給与に関する条例などの一部改正は、大分県退職手当で組合負担金について、同組合条例と整合性を図るための改正で可決。

- 人事行政の運営などの状況の公表に関する条例の制定は、地方公務員法の改正に伴い、人事行政の運営における公正性および透明性を確保するため地方公共団体の長はその運営概要の公表を義務づけられたので、条例を制定するものであり可決。
- 条例の左横書きおよび用語などの整備に関する措置条例の制定は、データベース化導入に伴い、



新たな地域づくりの拠点として（川崎出張所）

条例の表記方法を右縦書きから左横書きに改めるもので可決。

- 特定の事務を郵便局に取り扱わせることに関する協議は、町民に直接関係する事項であるので活発な討論を展開したが、可決。

- 日出陽谷高校跡地の一部借用の陳情は、全体計画の方向性が定まっていないため、検討が必要であり継続。

産業経済

気分一新

産業文化まつり

- 中山間地域整備事業山中工区で土地改良事業が

- 一定率減税の廃止、縮小を中止する事を求める意見書（案）の提出は採択。

社会厚生

保育対策の充実

- 子育て支援の中核である保育対策の充実を求める陳情は、現状の保育園運営費が法改正で、一般

行われ、字の区域変更が生じたため可決。

- 台風14号で農業関係被害は、3500万円、耕地災害880万円、漁港災害4300万円、また、7月の長雨による災害復旧申請は600万円との報告を受けた。
- ひじ産業文化祭りは、今回産業部門を日出陽谷高校跡地に移し、農協・漁協・商工会・森林組合・観光協会の協賛のもと、町の産業を町民に知ってもらう消費を促し、産業の振興を図るとの担当課の意気込みのある報告を受けた。

建設

水道料金の見直し、慎重な調整を

慎重な調整を

- 16年度日出町水道事業会計決算の認定および利益剰余金処分は、全会一致で認定。決算は純利益5747万1千円の黒字決算、利益剰余金の処分

財源化が検討されている。保育予算の削減にならないよう要望するものであり、全国一定水準を確保するための補助制度は必要と考え採択。

- 日出町国民健康保険特別会計補正予算は、退職者医療交付金の精算に伴う償還金の額の確定によるもので可決。
- 日出町介護保険特別会計補正予算は、10月から介護保険制度改正に伴い、食事や居住費が全額自己負担となるため、減額分が計上されたもので可決。

常任委員会

は7747万1千円を減債積立金および建設改良積立金と繰越利益剰余金でそれぞれ処分することを確認した。

- 17年度日出町簡易水道特別会計補正予算は、おもに南端簡易水道の修繕経費で、全会一致で可決。
- 17年度日出町公共下水道事業特別会計補正予算は、汚泥脱水機施設工事は、

費の確定分および借換債償還分の減額、補助事業の追加分であり全員一致で可決。

- 17年度日出土地区画整理事業特別会計補正予算は、精算徴収金の計上による一般会計繰入金の減額調整であり、全会一致で可決。
- 17年度日出町水道事業会計補正予算は、配水管



鹿鳴越連山からの恵みの水（水源地）

特別 常任委員会

高校跡地

動き出した跡地事業

今年度事業であるグラウンド部分を除く埋め土は、8月中旬に国土交通省から別府市上人地区の共同溝工事にとまなう残

の老朽化に伴う布設替えが主なもので、全会一致で可決。

また豊岡、南端簡易水道の使用料の見直しは、水道事業としては事業収益で運営することが望ましいことは原則ではあるが、これまでの経緯もあり、今後地元関係者でつくる協議会と慎重に協議し、調整するよう確認した。

土処理の依頼があり、10月初旬から搬入する。搬入土量は8000m³で、工程にあわせ、配水管φ800を布設し水路改修を行う。また国道10号交差点改良の実施設計は、中央公民館前の街路から直線で跡地に進入することと県公安委員会との協議が終わり、信号機移設など新たな予算が必要に

なりますが、18年度の事業実施に向けて計画を進めていきたいと報告がありました。

委員から交差点改良を含む本線の工事は、用地買収を含めて地元関係者の協力は不可欠、理解と協力が得られるよう頻りに地元協議会とも接触するよう確認しました。



埋め土作業が進む高校跡地

一般質問

ここが知りたい

一次産業の充実を

佐藤 克幸 議員



問 現在の一次産業について、町長の考えをお聞き致します。

町長 一次産業は、基幹産業であり、きわめて重要な施策と考へ、地域の特性を最大限に生かすために生産基盤を整備したいと考えています。

今後の取り組みとして、もつかる農業とあわせて、担い手の確保と農地の集積化を目指し、法人化を含めた集落営農の推進に努力をしたい。

2年計画で、農業振興整備計画の見直しも考えています。

特産品の城下カレイは、栽培事業による稚魚放流がある程度の成果を上げています。

雇用の拡大を

問 若い世代の就職先として、工場誘致などは考えられないですか。

終身雇用の形態で就職の場所を提供できないのですか。

町長 若い世代の雇用の



台風により白穂になった水稲被害

確保は、町づくりの重要な観点と考へ、企業が立地しやすい条件整備に努めています。

泉北大神線、上下水道の整備、高校跡地の有効活用を検討など行い、適地調査を作成し、東京や大阪の県関係者に配布しています。

ボランティアの保障は

問 ボランティア活動は何名くらい参加していますか。また、どんな活動をしていますか。事故などが起きた時の対応はどのようにしていますか。

町長 自主的な活動として多くの方がボランティア活動にかかわり、21団体、349名と多種多様のグループが活躍しています。

79自治区には、自治会活動総合保険の適用、自治公民館連絡協議会、社会福祉協議会には、ボランティア保険など

があります。

今後、啓発に努めたいと考へます。

税金の収納対策

問 税金の不能欠損される額も多いかと思えます。収納対策について考へをお聞きたいです。

町長 諸般の事情で、未納の町民もいますが、回収に努力し不能欠損をできるだけ減らしたいと考へます。

夜間徴収を実施したり、訪問回数を増やし、悪質な滞納者は、財産差押えなど、処分も考へていきます。

質問を終えて

今回の総選挙での結果で、単独の町では大変風当たりが強くなりそうです。

町長の手腕が問われるでしょう。

一般質問

ここが知りたい

介護保険料の 減免措置をせよ

佐藤 隆信 議員



います。住民の皆様のご理解を得て、行財政改革を円滑に進めるためにも協力をお願いしたいと思います。

質問を終えて
町長は選挙前の町民との約束を守って下さい。そして住民サービスをむやみに切り捨てないで下さい。

問 介護保険料は所得に応じて保険料が決められています。年金生活者などで、生活保護者よりも所得が低いのに保険料が高い人がいる。10月からの介護保険の見直しで、所得の低い人の減免措置を計画していますか。

町長 低所得者に対しては別にいろいろな措置もある。そのことも含めて、十分精査し検討させていただきます。

福祉保健課長 現在生活保護の受給者が第1段階であり、生活保護の受給者ではなくそれより低収入の方も、第2

段階にいます。今回の改正で、この現行の第2段階を細分化しまして、負担能力の低い層には、より低い保険料を設定するようになっています。

**住民に説明もなく、
なぜ出張所廃止**

問 出張所の特定の事務を17年12月1日から郵便局で行うとしていますが、12月から出張所廃止するのですか。

町長 納税事務あるいは住民課などの証明事務などを廃止するのであって、出張所は引き続き存続させます。また、

税務課、住民課サイドの特定の課だけではなく、日出町役場の出張所という観点から、そしてもっとすばらしい地域の振興の拠点になるような機能を付与していくことを考えています。

問 住民サービスが大きく変更することになるし、変更するには住民議会・職員と話し合い、合意のうえで行うべきではありませんか。

町長 手順の問題ではありませんが、機会があるごとに、何回かこういう動きをしているというところのご報告はさせていただいたと思っ



脳も体もリフレッシュ (南部区)

豊富な情報発信で、町づくり協働改革

森 昭人 議員



問 完成した改革プランを完遂するためには、今後町民の皆様にも一層のご理解とご協力をいただき、協働して改革を進めながらの町づくりをお願いしなければなりません。そのためには具体的な情報の公開が必要不可欠であり、また情報量の多少は、職員の危機意識や町民の方々の問題意識の加減に大きく影響すると考えます。改革プランに沿って実行された施策、成果、実行を検討協議している施策をその都度具体的に広報するため、「広報ひじ」に専門ページを設け、行財政改革について随時情報を発信してはいかがでしょうか？

町長 町報9月号は就任1年間の取り組みや行革における進捗中の事項についてお知らせをしています。11月にはこの半年の行革の検証結果が公開できる段階

になります。また十分ということではありません。今後とも一層意を用いて、具体的な取り組み内容を積極的に掲載しながら、増ページすることも考え、町民の方々のご理解が得られるよう推進する方向で考えたいと思います。

企業誘致・観光は情報発信で第一歩

問 新しい町づくりは、企業誘致と観光という観点からも人口増加、

景気浮揚を考え、町税収入増による安定した財政基盤づくりが必要です。日出町はこれまでに、企業誘致には消極的、観光問題にも特効薬が見いだせていない観があると考えています。町外に向けた情報発信という見地から今後どう対処していきま

すか。

町長 先端技術産業や商業施設の企業誘致を進めるべく重要課題に取り組んでいます。現在独自に工場適地をリストアップし、工場適地



住民ニーズに適確な情報を

案内を作成し各所に配布しています。

観光宣伝はすでに福岡のエイジエントなどにもお願いしています。特産品の販売や総合案内ができるインフォメーションセンター的な施設も検討しています。観光には宣伝と受け入れの両立が非常に大切であると考えます。

また魅力ある、自慢できる町づくりを総合的に推進するなかで、情報を発信し日出町に興味を持っていただければ、企業誘致、観光の問題は解決していくと思っております。

質問を終えて

新しい町づくりに、町内外に向けた個々の情報の発信が不可欠、時流にあった内容、手法で。

一般質問

ここが知りたい

予防重視の介護保険制度へ

佐藤 済江 議員



問 「古い」や「老衰」「老化」の現象に対する誤解を払拭し、少しでも健康寿命を延ばす取り組みの必要性が叫ばれています。介護予防の意識啓発の具体的な取り組みは？

福祉保健課長 18年度から特定高齢者施策では、対象者の把握が必要となり、検診時にスクリーニングをすることになりました。これにより対象者も対象外になった高齢者も身近なものとして興味を持ってもらい、意識の啓発につなげたいと思います。

問 現在行っている転倒予防教室、脳活性化予

防教室の今後の取り組みは？

福祉保健課長 この教室が特定高齢者施策に位置づけられると、ハイリスクの方のみが対象となります。何らかの形で誰でも参加できるように現行の教室の継続を考えています。

問 事業者の情報開示義務付け、指定・ケアマネージャー資格更新制導入に対する取り組みは？

福祉保健課長 サービスの内容や運営状況は県知事に報告、その内容は公表されます。また事業者に対しては6年ごとの更新制、ケアマ

ネ資格は5年ごとの更新、更新時の研修の義務化を県知事が実施します。

問 総合的な相談窓口や夜間対応型訪問介護への取り組みは？

福祉保健課長 今回の改正で地域包括支援センターの設置が義務付けられますが、その中で、高齢者やその家族に対する総合的な相談窓口を設けます。第3期事業計画に盛り込みたいと考えています。

「わかる授業」「おもしろい授業」へ

問 子どもを元気にする



先覚者に学べ 脇蘭室生誕地（豊岡・小浦）

には先生が元気でなければならぬ。それには「わかる授業」「おもしろい授業」をつむぎだす教師の技術を育む場所づくりが必要で

す。郷土の脇蘭室が塾生の養成に力を注いだように日出町にも子どもの教育環境の向上に取り組みが必要がりますが？

教育長 財政面や組織・運営の問題があります。

今後関係者の意見を聞き、研究して考えていきます。

質問を終えて
介護予防や教育への先行投資は、大きな実を結ぶと信じます。町長のリーダーシップはもとより、担当職員の取り組みに期待しています。

行政改革について



遠藤 建作 議員

問 改革をスローガンに工藤町政も1年が経ちました。これまでにできた改革、変更した改革、今後の改革の目標について時期、金額を明示し説明していただきたいです。

町長 現在すべての係りごとに見直しの検討事務事業および補助事業などのチェックリストを作成し、専門部会ごと3年間の達成度の検証を10月をめどに行っているので報告します。

① 人件費の削減（特別職報酬職員給料カット・新規採用一時停止・早期退職者の募集・議員報酬および定数削減・各種委員会報酬の見直し・農業委員定数削減）で1億4000万円達成。

② サービスとコストの最適化（城下かれい祭り500万円・社協補助金630万円・町老齢年金、誕生祝金1339万円・役場内清掃

委託231万円）により削減した。

③ 外部委託の推進（出張所の宿日直の廃止で614万円・公園清掃管理委託785万円）で削減。

④ 投資的経費の見直し（豊岡公園の建設事業の休止3900万円）

で削減。

総額2億3000万円ほどの削減効果額の目標を達成できると思っています。

歳入確保策として利用計画のない土地の売却10件で1022万円の収入があったが、普通交付税が1億372



注目的、日出町の行政改革

7万4千円の減額になり調整基金などで補充した。これは前年度の税収の増加に見合う制度上の問題でありやむをえないと思っています。

問 日出町管理のごみ収集車1台、給食センターの民間委託について早急に取り組むべきだと思いますが。

町長 委託した方が安く上がるということは十分承知していますが、職員の配置の問題がありますので、組合などの協議の中で十分考えをまとめて、早く結論が得られるよう努力してまいります。

質問を終えて

5〜7%の削減は少し節約すれば可能です。20〜30%削減しようと思えば、古い設を壊し、新しい発想と工夫をしなければできません。

先進地に学ぶ

研修視察

●総務委員会

日時 7月27日～29日

研修先 国会陳情

目的 ウエルサンピア
大分日出の存続の陳情



熱く語る総務委員会

岩屋毅衆議院議員同行のうえ、厚生労働大臣官房参事官と大臣政務官へ詳細に説明しました。

整理合理化対象施設が全国に病院を含めて328施設ある。

年金福祉施設の整理合理化の進め方として17年度に整理合理化

計画を策定して、5年目を目途に進める。しかし国会の付帯決議として、地元自治体よく話し合うことが明記されているので、存続の可能性は残されている。

残すためには良い入ポンサーを見つげる事。日出町の支援がどこまでできるか。また、厚生労働省としては、広く情報提供はしていくと言われました。藤井政務官に実現に向け強く要望をいたしました。

研修先 千葉県栄町
目的 行財政改革大綱
の研修

助役、収入役が不在であり、4年連続で予算規模が減少している。人件費では、町長および教育長の給与を15%削減し、一般職の管理職給与と12・5%、職員給与を7・5%削減している。居住者が団塊の世代で退職時期を迎え、町

税の大幅な減収を来す恐れがあり、赤字再建団体にならないように、強い決意で全庁上げて財政健全化計画を着実に実践している事が伺われた。

●議会だより 編集特別委員会

日時 8月25日～26日

研修先 第62回町村議会

広報研修会(東京)

目的 「より良い行政を実現するために議会だよりの発行」を目指し、これまでに培った実力にさらに磨きをかける。

25日に成蹊大学名誉教授 佐藤竺氏の「行政広報の沿革と議会広報の意義・役割と現状」と題して議会議報は議員活動を通じての町政の情報提供をして、町民に考えさせる広報を目指す必要があると講義を受けた。

群馬県草津町長の中澤敬氏から草津町憲章「歩み入る者にやすらぎを、去りゆく人に幸せを」を基本理念に実践に努めている。また、(株)宣伝会議編集長 田中 理沙氏から「伝わる広報」として、企画力・編集力を強化すると題して講演を受けた。

26日は、広報コンサルタント 深沢徹氏から、全国の町村からクリニックを依頼した10団体の議会だよりを具体的な評価基準として、①編集の基本姿勢と企画 ②文章・用語・表記 ③編集・印刷技術に基づいた批評があり、クリニックで指摘された点で、当議会だよりに当てはまるものがあつた。研修で得た知識に基づいて、もう一度原点に立って、「住民を相手に、住民のための広報」を目指し頑張っていきたい。

民の声



郷土の伝統文化を 町づくりの活力に

辻間楽保存会

会長 安部 公一

「辻間楽」豊岡地区の八津島神社に約600年前の南北朝時代から伝えられている舞楽です。

太鼓を胸につけ、背中にハネと呼ばれる旗差し物を付けて、庭で舞う楽と、和尚と小僧とが掛け合いで行う狂言とで構成されていますが、今は舞楽を復活させ伝承したいと保存会員みんなで努力しているところです。

「辻間楽」はもともと八津島神社の氏子や周辺の青壮年の男子が舞っていたのですが、景気高騰時に入って若い人達が都会に流出して行き、人員不足になり中断やむなきに至りました。

昭和56年、豊岡小学校の児童生徒の皆さんの協力を得て、辻間楽文化財愛護少年団を結成して活動をして来ましたが、少年野球、少年剣道、少年少女バレーボールなどのクラブ活動が活発化してくるのに伴い、団員が次第に少なくなり、文化財愛護少年団の活動が出来なくなり、休止をやむなきに至りました。

今般、八津島神社の御鎮座千二百七十年に当

たるのを期に辻間楽の再復活をとの話がありました。保存会員間で話し合ったところ、会員も高齢となっており、復活も最後の機会ではないかとの結論に達し、町社会教育課の援助を得て愛護少年団員を募ったところ、5名の希望者があり、平成16年9月に練習を始め、10月10日の八津島神社の秋の大祭に初奉納しました。

また、豊岡地区ふるさとまつりや今春の地区体育祭にも出演し、活動を披露してきました。練習を月2回、第2・第4日曜日の午後1時に豊岡地区公民館で練習会を行っています。

少年団員も10名になり、少しずつですが増えてきております。

まだまだ人数が足りませんが、一人でも多くの加入者を待っています。

また、少年団員だけでなく、大人の方も加入して辻間楽の保存だけでなく、地域の青少年非行防止や奉仕活動を行っていききたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

日出町教育委員会
委員再任される

藤田 政義 氏(66)

(川崎内野)



一部事務組合
議会議員に選出される

平成17年10月1日から杵築市、山香町、大田村が、新たに「杵築市」を設置することに伴い、議会議員の定数が再編により議員増となったものです。

●別杵速見地域広域市町村圏事務組合議員
垣迫伝一郎 氏

●杵築速見消防組合議会議員

白水 昭義 氏
上野 公則 氏

●杵築速見環境浄化組合議会議員

兔洞 賢蔵 氏
熊谷 健作 氏

編集後記

スポーツやゲームを行う時、一定のルールがあり、マナーが強く要求される。ましてや議員の言動が、正確さに欠け、それが文章となり町民の目に触れていることなど、慎重、公正でなければならぬ。議員活動が齎かされていくとき、議会には地方自治法および会議規則において、自主的に規律を保持し規制するための権限(規律と懲罰)が与えられている。それを町民に代わって行使することを託されているのも私たち議員である。

議会だよりの編集にあたって公平公正の原則は当然であり、限られた紙面構成で集まった原稿とにらめっこしながら四苦八苦の挑戦はこれからも続く。(S・S)

- 編集委員長 後藤 佑
副委員長 森 昭人
委員 佐藤 済江
委員 上野 公則
委員 笠置 久夫
委員 城 美津夫